

## 第 11 回 大阪府安全なまちづくり推進会議総会 概要

5月9日（木）、ホテルプリムローズ大阪において、「第 11 回大阪府安全なまちづくり推進会議総会」が開催されました。

本総会には、大阪府知事、大阪府警察本部長、大阪市副市長（市長代行）、堺市長のほか、事業者団体等の代表者が出席し、摂南大学法学部准教授の講演や、「安全で安心なまち大阪」の確立に向けた意見交換等が行われました。

### 1 平成 25 年度の活動方針

- 目 標 . . . 街頭犯罪のさらなる減少  
子どもや女性の犯罪被害の防止
- 取組み重点テーマ . . . 地域における優れた取組みを広げる  
防犯カメラの設置拡大

#### 活動の基本方針

- ① 各構成団体は、ひたたくりをはじめとする、府民の身近なところで発生する犯罪の防止に向け、それぞれが防犯カメラの設置など防犯対策を具体的に実施する。
- ② 子どもや女性の犯罪被害防止のため、社会各分野の各層に防犯ネットワークをきめ細やかに構築し、子どもの見守り活動や青色防犯パトロール活動の活性化を図るとともに、効果的な広報啓発活動を実施し、自主防犯行動の促進を図る。
- ③ 少年非行防止のため、街頭補導活動や立ち直り支援活動を実施するとともに、官民が一体となった青少年の健全育成を阻害する有害環境を浄化する活動を実施する。
- ④ 府民一人ひとりの規範意識と地域の連帯感の醸成を推進し、地域コミュニティの形成と地域防犯力の強化による犯罪の起きにくい社会を実現する。

## 2 講演

『学生さんと青パトに乗った2年半で学んだ地域防犯の感覚』

講師：摂南大学法学部 准教授

主宰する研究室では、学生と一緒に地元地域の日常に入り、青色防犯パトロール活動や小学校や児童福祉の支援、自治会行事にも参加し、地域における防犯活動を推進されています。

自身が経験した青色防犯パトロール活動を通じての地元住民のみなさんとのふれあいやアンケートの結果、また、地域防犯を広めるための工夫や拠点づくりについて、ご講演いただきました。

<講演内容のポイント>

- ・青色防犯パトロール活動のきっかけは「街頭防犯カメラの設置」
- ・「形からの防犯」も必要
- ・青色防犯パトロール活動の車両を小学校に配備（メッセージと活動の工夫）
- ・「子ども見守り」で活きた街頭防犯カメラ
- ・地域防犯を広めるために必要なこと

## 3 あいさつ・意見交換等コメント概要

大阪府知事（会長）

【あいさつ】

- 本日はお忙しい中、「大阪府安全なまちづくり推進会議」にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、皆様には日頃より、防犯に対する取組みをはじめ、大阪府政の推進にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
- さて、昨年の本会議で掲げました「街頭犯罪のさらなる減少」という目標は、3年連続で「全国ワーストワン」を返上し、達成することができました。これも、本日までご出席の皆様をはじめ、府民の皆様、そして、大阪府警の皆様の真摯な取組みによるものであり、改めて感謝申し上げます。

大阪府内の街頭犯罪の認知件数は年々減少しておりますが、残念ながら「ひったくり」に関しては2年連続で全国最多となり、また今年に入ってから自動車関連犯罪の発生が多く、府内の犯罪情勢は依然として、厳しいものとなっております。

- 昨年、私はこの席で都市が健全に機能し、そして成長するためには、その土台となる「治安」がしっかりしていることが不可欠だと申し上げました。その思いは今も同じです。「安全・安心なまち大阪」を実現するためには、住民一人ひとりの防犯意識とともに

に、地域の防犯力を向上させることが重要です。

- 本年も、大阪府、市町村、警察、府民、事業者が一体となって「防犯まちづくり」の活動に取り組み、犯罪を起こさせない気運を社会全体でつくりだすことで、治安の改善につなげていきたいと考えております。

#### 【意見交換会】

- 大阪府での独自の取組みとして、平成21年度以降、「地域安全センター」の設置を進めてきたが、その結果、防犯ボランティアは増加し、街頭犯罪の認知件数も減少するといった成果が生まれています。
- それぞれの地域で工夫をして、ユニークな取組みを継続して行うことにより、これだけ街頭犯罪、刑法犯全体が減少したという結果につながっている。
- 一方、地域によって温度差があるのも事実。特に今後、府内の犯罪件数を減少させるためには都市部での取組みの強化が必要。大阪市では、今後、街頭犯罪のさらなる減少に向けて、公募区長が先頭に立って頑張っていただきたい。

#### 【まとめ】

- 冒頭にもお伝えしましたが、依然として、大阪府内においては、街頭犯罪をはじめ、子どもや女性をねらった犯罪等、厳しい治安情勢が続いております。
- 本年の目標に掲げました

- ・ 街頭犯罪のさらなる減少
- ・ 子どもや女性の犯罪被害の防止

に向けまして、大阪府をはじめ、各市町村、警察、府民、事業者のみなさんが一体となった防犯まちづくりの取組みを推進して参りたいと考えておりますので、本年もどうぞ、皆様のご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

### 大阪府警察本部長（会長代行）

#### 【あいさつ】

ここにお集まりの皆様にご協力をいただき心から敬意を表します。

平成13年から10年以上が経ち、全刑法犯は、半分以下になり、街頭犯罪については、約3分の1に減少する大きな成果を挙げる事が出来ました。

しかし、犯罪率、人口当たりの犯罪発生件数では、刑法犯あるいは街頭犯罪全てにおいてワーストであり、残念な結果であります。

昨年、ひったくりは大きく減少しましたが全国最多で、強制わいせつについても、大阪がワーストという状況であります。

また、今年に入り、強制わいせつや自動車盗は、増加しております。

府警においては、被害に遭わないように様々な形で犯罪発生情報を提供しており、携帯に情報を提供する安まちメールは、30代以上のお子様を持つ方の関心は高い反面、10代、20代の若い層の関心が低く、安まちメールの登録を呼びかけています。

主に高齢者が被害者である振り込み詐欺は、大幅に増加している状況で、大きな問題と考えており、これらの情報を判りやすく、適切に伝えていくことが大切であると認識しております。

#### 【意見交換会】

防犯カメラの設置は、住民が知らない状況では、不安感を生むこともありますが、設置から住民がかかわり、その運用についても住民が参加しているなら安全・安心の両方が向上します。

これは、「参加型犯罪予防」というもので、この様な取組は、小さな単位の活動が効果的で、警察署や交番単位が理想的です。

大阪でもこれらの活動を推進していくことが重要と考えております。

### 大阪市副市長

#### 【意見交換会】

- 平成20年当時、市民局長在職時に府警本部と連携し、街頭犯罪の減少に取り組んだ。その際に行政だけではなく、地域の方々にも参加いただくような取組みを行うよう心掛けた。
- 私が着任した時は街頭犯罪が約4万件あり、圧倒的に全国ワーストであった。現在、青パト活動は市内全小学校区の3分の2くらいで、また、登下校時の子ども見守り活動は全小学校区で実施していただいている。地域のみなさんがなかなかカバーできない夜間帯については、業者委託して青パトで巡回するように取り組んでいる。防犯カメラも市内に8千台程度設置されている。その結果、平成24年末には、街頭犯罪は約2万4,000件、約40%くらい減少した。
- 先ほど知事がおっしゃった「まだまだ都市部で犯罪が多い」ということで、取組みを継続していかないといけないと思う。4年間、各地域で一生懸命やってきたが、マンネリ感がでてきてはいけない、どうモチベーションを持続させていくかが一つの課題である。
- 大阪市も繁華街と都市部では状況が違い、区によっても色々と異なった面があるので、警察署、行政が連携して、地域の方とも情報を共有し、もう少し積極的な参加型の対策をとっていければと考えている。

いわゆる安全ステーションと銘打った施設というのは少ないが、地域の集会所や市営

住宅の空き住戸も活用した活動をされているので、実体的に更に数を増やしていけるよう、看板をつけて、地域の方が集まっていただける場所の確保に取り組んでいきたい。

※ 各コメントは、本会議開催中に発言された要旨を記載しています。